





単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 5 月 1 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	1	交通対策
基本施策	1	交通対策	単位施策	(2)	バス等の利便性の向上
主管課	企画財政課		関連課	-	
現状と課題	・岩倉駅を中心に東口からは小牧駅行き、西口からは一宮駅行きのバス路線があり、1日の運行本数は2方面合わせて164本となっており、また小牧方面については、岩倉団地経由及び八剣経由があり、市民の重要な足となっている。しかしながら、運行本数はH23年度と比べると微減しており、現行路線の維持・充実が課題である。 ・市南西部の新たなバス路線として、尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通じて、名鉄バス九日市場線（尾張一宮駅前～九日市場）について、北島町を経由して岩倉駅までの延長を要望している。 ・高齢者や身体の不自由な人等の移動手段の確保及び地域の活性化のため、コミュニティバスやタクシー等新たな交通手段のあり方を含めた総合的な交通対策の検討が必要である。				
総合計画書ページ番号	162				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	○	評価理由	尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通じて、名鉄バスに市内循環バスの新設、小牧駅方面の増便、九日市場線の延長等を要望している。本市の総合的な交通対策のあり方を検討するため、公共交通実態調査を行った。
	今後の取組	・民間路線バスの更なる充実のため、尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通じて、名鉄バスに九日市場線の延長を要望していく。 ・公共交通実態調査の結果、高齢社会に対応した総合交通対策として、デマンド型交通の導入を検討するため、地域公共交通会議において、国・県・バス・タクシー事業者等関係機関と調整を進めていく。		

3 単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	路線バスの1日の運行本数	本	H22	167	166	164	-	170
	路線バスの1日の運行本数に対して満足している市民の割合	%	H22	76.1	-	-	-	77.0

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	民間路線バスの維持・充実	主管課	企画財政課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	○	尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通じて、名鉄バスに市内循環バスの新設、小牧駅方面の増便、九日市場線の延長等を要望している。											
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値					
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
	路線バスの1日の運行本数	本	H22	167	166	164	-	170					
事業事業	事業事業名		事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化		
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計		
	1	尾北地区広域交通網対策連絡協議会	-	-	-	-	○	-	25千円	58千円	83千円	維持	-
	2												
3													

個別施策	②	高齢社会に対応した総合交通対策の検討	主管課	企画財政課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	○	本市の総合的な交通対策のあり方を検討するため、公共交通実態調査を行った。											
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値					
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
	公共交通実態調査の実施	-	H23	-	-	実施	-	実施					
事業事業	事業事業名		事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化		
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計		
	1	(仮称)デマンド交通事業	-	-	-	-	○	-	0千円	1,547千円	1,547千円	拡大	○
	2	公共交通実態調査	-	-	-	-	○	-	300千円	497千円	797千円	完了	-
3	尾北地区広域交通網対策連絡協議会	-	-	-	-	○	-	25千円	58千円	83千円	維持	-	













単位施策評価シート(平成24年度実施施策)

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 18 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	2	道路
基本施策	2	道路	単位施策	(3)	道路・橋梁の維持管理の充実
主管課	都市整備課		関連課	-	
現状と課題	・市民生活に直接影響する道路及び橋梁を適正に維持管理することは必要不可欠なことである。また、生活道路だけでなく都市間交通網の一翼を担っている幹線道路の維持補修については、大型車交通量の増加に伴い沿線住民への騒音、振動の原因ともなることから、損傷箇所の早期発見と計画的な修繕計画に従い、最小経費で最大効果を実現することが必要となっている。 ・道路は、災害時における避難路や物資等の輸送路としての役割を持っており、とりわけ橋梁の損壊は、道路を遮断するとともに、復旧に要する時間と費用も超大となることから橋梁の長寿命化を図ることが必要となっている。				
総合計画書ページ番号	166				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	○	評価理由	橋梁は、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定するため、平成24年度に点検を実施した。幹線道路の舗装修繕は、平成25年度に路面性状調査を実施し、計画的に修繕を進めていく。日常の道路パトロール等により、道路損傷箇所の早期発見・早期補修に努めている。
	今後の取組	・市内道路の骨格を形成している幹線道路の維持補修については、交通量の増加とともに経年劣化が著しく、限られた予算の中で全体に対応することには限界がある。このため、路面性状調査を実施し整備路線の優先順位及び整備方法を決定することにより、計画的な修繕を実施する。 ・橋梁は、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的な維持管理に努める。 ※路面性状調査：舗装のわだちや亀裂等の状況を数値化する調査。		

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	橋梁長寿命化修繕計画策定	-	H20	-	-	点検	-	策定
	まわりの道路の舗装状況に満足している市民の割合	%	H20	85.5	-	-	-	87.0

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	計画的な維持管理の推進	主管課	都市整備課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	○	橋梁は、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定するため、平成24年度に点検を実施した。幹線道路の舗装修繕は、平成25年度に路面性状調査を実施し、計画的に修繕を進めていく。											
指標情報	指標名		単位	基準値		現状値		目標値					
				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)				
	橋梁長寿命化修繕計画策定		-	H20	-	-	点検	-	策定				
幹線道路舗装修繕率		%	H21	-	-	調査設計	-	15.0					
事業事業	事業事業名		事業種類				投入コスト		今後の方向性	重点化			
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計		
	1	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	-	○	-	○	○	-	7,726千円	348千円	8,074千円	維持	○
	2	舗装側溝整備事業	-	○	-	○	○	-	167,918千円	3,094千円	171,012千円	維持	-
3													
個別施策	②	危険箇所の早期発見と早期維持補修	主管課	都市整備課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	○	日常の道路パトロール等により、道路損傷箇所の早期発見・早期補修に努めている。											
指標情報	指標名		単位	基準値		現状値		目標値					
				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)				
	道路舗装等に対する地元からの要望箇所数		か所	H22	42	30	31	-	25				
事業事業	事業事業名		事業種類				投入コスト		今後の方向性	重点化			
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計		
	1	公共施設維持管理費	-	○	-	○	○	-	4,472千円	290千円	4,762千円	維持	-
	2	舗装側溝整備事業	-	○	-	○	○	-	167,918千円	3,094千円	171,012千円	維持	-
3	道路維持費	-	○	-	○	○	-	38,186千円	851千円	39,037千円	維持	-	



































単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 16 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	6	上水道
基本施策	6	上水道	単位施策	(1)	安心で安定的な供給
主管課	上下水道課		関連課	-	
現状と課題	・市民に安全な水を安定的に供給するためには、今後、更新時期を迎える水道施設について、更新計画に従って計画的な施設の更新を着実に実施していくことが重要である。 ・老朽管については、耐震性が低く、災害時に多大な被害が想定され、漏水事故の主な原因にもなり、安定給水と有収率の向上の観点から布設替え等の更新を計画的に行い、耐震化を図ることが重要である。 ・美味しい、安全な水を確保するためには、揚水量、地下水位、水質等の管理を適正に行うとともに、水源施設の適切な浄水処理や水質監視の強化を図り、水源水質の保全に努めることが重要である。				
					総合計画書 ページ番号
					181

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	○	評価理由
	老朽管対策の配水管整備について、第3期配水管整備事業計画に基づいて、着実に整備事業を進めている。整備の進捗状況は、平成19年度から平成28年度までの10年間で、全体延長23.8km、総事業費873,000千円で整備する計画で、平成24年度末で、約12.5kmが完了し、整備率が52.5%である。今後、整備率向上に努める。		
今後の取組	・自己水源は、安定給水や危機管理面でも有用な資源であることから、更新時期を迎える水道施設について、今後も更新計画に沿った施設の更新を進めていく。 ・老朽管対策として、平成18年9月策定の第3期配水管整備事業計画（平成19年度～平成28年度）に基づき、水圧不足解消のための配水管拡張やブロック化を進めているが、引き続き、計画的な配水管整備事業を着実に進めていく。 ※総合計画に記載されている単位施策の指標は、平成21年度の基準年度のものである。平成23年度策定の岩倉市水道ビジョンにおいて、有収率の見直しを行った。（平成27年度 93.7%→91.3%）		

3 単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	有収率	%	H21	92.7	90.9	90.9	-	93.7

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	水資源の確保	主管課	上下水道課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	○	平成24年度末現在の自己水配水量（依存率）は36.0%で、平成23年度の35.7%に比べ、0.3ポイント上回っている。											
指標情報	指標名		単位	基準値		現状値			目標値				
	自己水配水量（依存率）			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)				
			%	H21	35.8	35.7	36.0	-	37.0				
事業事業	事業事業名		事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化		
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費			人件費	計
	1	配水施設機械設備等更新事業	-	-	-	○	○	-	13,282千円	522千円	13,804千円	維持	-
	2												
3													

個別施策	②	水道施設の計画的な整備・更新	主管課	上下水道課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	○	有収率は、漏水件数に左右され、平成24年度末現在の漏水件数は38件で、平成23年度の51件に比べ13件減少した。また、平成24年度末現在の有収率は90.9%で、平成23年度末と同様であった。											
指標情報	指標名		単位	基準値		現状値			目標値				
	有収率			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)				
			%	H21	92.7	90.9	90.9	-	93.7				
事業事業	事業事業名		事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化		
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費			人件費	計
	1	第3期配水管整備事業	-	○	-	○	○	-	64,905千円	928千円	65,833千円	維持	○
	2	配水管設備事業（公共下水道関係）	-	-	-	○	○	-	6,142千円	348千円	6,490千円	維持	-
3	積算システムの導入	○	-	-	-	-	-	0千円	0千円	0千円	拡大	-	

個別施策	③	水質管理の充実	主管課	上下水道課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	◎	水質管理は、水質の検査を毎日及び定期的に行い、水質を管理している。検査結果は、すべて基準に適合している。											
指標情報	指標名		単位	基準値		現状値			目標値				
				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)				
	水質検査基準適合率		%	H21	100.0	100.0	100.0	—	100.0				
事務事業	事務事業名		事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化		
			新規	主要	マンパスト	実計	予算	その他	事業費			人件費	計
	1	配水施設等運転管理業務	—	—	—	○	○	—	18,690千円	522千円	19,212千円	維持	—
	2	水質検査等委託料	—	○	—	—	○	—	9,660千円	46千円	9,706千円	維持	—
3	配水場等機器保守点検委託料	—	—	—	—	○	—	2,835千円	46千円	2,881千円	維持	—	



単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 16 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	6	上水道
基本施策	6	上水道	単位施策	(3)	運営基盤の強化
主管課	上下水道課		関連課	—	
				総合計画書 ページ番号	182
現状と課題	<p>・少子高齢化の進行や節水機器の普及などにより給水収益の大幅な増加が見込めない中、今後、水道事業の経営は、大変厳しい状況になるものと予想される。</p> <p>・今後、更なる水道事業の安定的経営を図るためには、事務業務の改善、業務委託の推進、新たな情報技術（管路マッピングシステム）の活用などに取り組んできたが、さらに、情報収集に努め、事業の健全化を図る。</p> <p>・収納率向上に向けて、利用者ニーズを的確に把握し水道料金の支払等の利便性やサービス向上を図りながら、信頼される水道事業を構築することが今後の課題である。</p>				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	○	評価理由	平成23年度に策定したアセットマネジメントを導入した岩倉市水道ビジョンの計画に沿って、持続的な事業運営と共により一層のサービスの向上を図りながら、信頼される水道事業に取り組んだ。
	今後の取組			・平成25年度は、更なる収納率の向上に向け、高額滞納者や長期滞納者をいかに減らしていくかが重要で、効果的な対策に取り組んでいく。

3 単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	現年度収納率	%	H21	98.1	98.4	—	—	98.5

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	経営の健全化	主管課	上下水道課									
評価及び理由	評価	○	評価理由										
			平成23年度に策定したアセットマネジメントを導入した岩倉市水道ビジョンの計画に沿って、持続的な事業運営に取り組んだ。										
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値					
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
	現年度収納率	%	H21	98.1	98.4	—	—	98.5					
事業事業	事業事業名	事業種類					投入コスト			今後の方向性	重点化		
		新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費			計	
	1	検針徴収総合業務	—	—	—	○	○	—	28,140千円	3,342千円	31,482千円	維持	○
	2												
3													
個別施策	②	利用者サービスの向上	主管課	上下水道課									
評価及び理由	評価	○	評価理由										
			管路マッピングシステム導入により、窓口対応等が早くでき、利用者のサービス向上を図るなど、より一層のサービスの向上に取り組んだ。										
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値					
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
	コンビニ収納件数	件	H21	15,983	16,814	—	—	18,000					
事業事業	事業事業名	事業種類					投入コスト			今後の方向性	重点化		
		新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費			計	
	1	上下水道システム事業	—	—	—	○	○	—	4,523千円	1,671千円	6,194千円	維持	—
	2	管路情報管理システム事業	—	—	—	○	○	—	2,708千円	2,414千円	5,122千円	維持	—
3	改正企業会計システムの導入	○	—	—	—	—	—	0千円	0千円	0千円	拡大	—	





単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 16 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	7	下水道
基本施策	7	下水道	単位施策	(2)	下水道事業に対する理解促進
主管課	上下水道課		関連課	-	
				総合計画書 ページ番号	184
現状と課題	<p>・公共下水道供用開始区域及び工事区域の住民の方に対する公共下水道の必要性については、接続促進や説明会を通じて周知を行っているが、その他の市民の方には普及啓発のPRが行き届いていない現状がある。市民全体に対して浸水対策を含めた形で水環境の整備促進の必要性を広報紙、HP、出前講座等を活用し啓発していく必要がある。</p> <p>・供用開始後1～3年の地域を中心に接続促進訪問を行い、接続の依頼をするともに未接続理由をヒアリングしている。</p> <p>・ヒアリングの結果、金銭面の負担から接続を見送っている家屋が多いが、他にも、「全く考えていなかった」「下水道に関心がない」「現状で何も不自由していない」「周囲が接続していないのでもちも接続しない」といった回答がある。</p> <p>・上記のような回答が多いのは、下水道整備に伴う水環境の改善が日々の生活の中で意識されにくいことや、下水道の必要性・重要性が市民に周知されていないことが原因であると考えられる。そのため、市民への広報活動に力を入れ、下水道への理解を促す必要がある。</p>				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	新規下水道接続対象者にパンフレットを配布する、接続促進の頻度を増やす等一定のPRIはしているが、公共下水道供用開始区域の住民への公共下水道普及への理解を得る説明に留まっている。
今後の取組	<p>・平成24年度は、リフォーム補助金制度の効果もあり、接続促進訪問後の接続率が平成23年度を上回った。平成25年度も、これまでの接続促進において経済的理由で接続していなかった家屋を中心に接続促進訪問を行い、平成24年度よりも多くの接続を目指す。</p> <p>・平成24年度は、平成23年度と比べて下水の水質基準を超過する事業所が多かった。今後は、一般家庭のみでなく、事業所に対しても下水道の利用に対する理解促進をする必要がある。現在、超過した事業所に対しては、通知文を送るとともに電話にて清掃頻度や今後の改善に向けた対策を指導している。これからは、基準を超過した事業所がその後基準超過することがないように徹底した指導を行い、また、水質調査対象の全事業所に対して水質基準を周知するなどして、最終的に基準超過する事業所がないようにする。</p>	

3 単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	下水道出前講座・見学会参加者数	人	H21	0	130	126	-	100

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	生活排水対策の強化	主管課	上下水道課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	○	下水道の日に合わせて、市の広報にて生活雑排水に対する配慮を呼びかけた。また、平成23年度と同様に水処理を理解してもらうために右岸・左岸の浄化センターにおいて親子下水道教室を行い、下水道に対する啓発を行った。											
指標情報	指標名		単位	基準値		現状値			目標値				
				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)				
	下水道出前講座・見学会参加者数		人	H21	0	130	126	-	100				
親子下水道教室参加者数		人	H22	200	160	120	-	200					
事業事業	事務事業名		事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化		
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計		
	1	下水道出前講座事業	-	○	-	-	-	○	0千円	12千円	12千円	維持	-
	2												
3													

個別施策	②	広報活動の充実	主管課	上下水道課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	○	接続促進（年4回）や工事説明会（年2回）、負担金の説明会（平成24年度は2回開催）にてパンフレットを配布するなどして下水道の必要性等をPRしている。											
指標情報	指標名		単位	基準値		現状値			目標値				
				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)				
	接続促進訪問家屋数		件	H21	66	204	242	-	200				
工事説明会		回	H21	2	2	2	-	2					
受益者負担金説明会		回	H21	1	1	2	-	2					
事業事業	事務事業名		事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化		
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計		
	1	接続促進事業	-	-	-	-	○	-	11千円	248千円	259千円	維持	○
	2	工事説明会資料作成事務	-	-	-	-	○	-	5千円	81千円	86千円	維持	-
3	受益者負担金資料作成事務	-	-	-	-	○	-	1千円	81千円	82千円	維持	-	

